

MDMシステム『SPPM v2.0』をリリース ～ iPhone/iPad対応など大幅に機能アップ ～

株式会社AXSEEDは、MDM (Mobile Device Management)システム『SPPM』を大幅にバージョンアップし、『SPPM v2.0』として iPhone, iPad, iPod touch に対応しました。これにより対応端末は65機種にまで増加いたします。

当社はWindows Mobile、AndroidスマートフォンMDMシステムのリーディングカンパニーとして2007年にサービスを開始し、これまでに法人300社に利用されております。この度、多くのお客様よりOSの混在一括管理※1を実現したいというご要望をいただき、iOS対応を実現いたしました。今後1年間以内に1000社の導入を目指します。

【 SPPM v2.0 主な特徴】

①iOS対応

・利用法人のiDEP加入が不要
 株式会社AXSEEDは米国Apple社より認定され、iOSのMDM機能の利用に関する技術開示を受けた数少ない日本企業の1つです。そのため新方式であるApple MDM証明書によるリモート制御が可能となります。これまで有償(クレジットカード登録が必須)で、かつ時間と手間がかかったiDEPへの法人加入なしでご利用いただけます。

iPhone, iPad, iPod touch



図1. iOS端末とAndroid端末を一括管理できる端末管理画面

・キャリア、OS 混在一括管理が可能

他の従来製品と異なり、どの端末をどの部署の誰が利用しているか、どういったルール(セキュリティ・ポリシー)を適用しているかをAndroid端末と共に一括管理可能です。(図1)

・iOS構成プロファイルの作成が不要

iOS端末管理においては、通常 Apple社が提供する『構成ユーティリティ』ソフトを用いて管理者が構成プロファイルと呼ばれるXMLファイルを作成し、それをMDMシステムに登録してからiOS端末群に配布しなければならず面倒でした。

『SPPM v2.0』では『構成ユーティリティ』ソフトは不要で、管理者はSPPMのポリシー設定画面で設定項目に値を設定するだけでよく、簡便かつ効率的です。(図2)


②接続先URL制限機能

Android端末用の新機能として『接続先URL限定』機能を追加しました。

※1 Windows Mobile端末は一括管理の対象外で別の管理画面となります。

図2. Android, iOS 両方に対応するポリシー設定画面例

ログアウト



TOP
ログ管理
端末管理
ポリシー管理
その他

パスワードポリシー管理 - ポリシー更新画面

パスワードポリシー名【基本ポリシー】

ポリシー名: 別名保存

※ポリシー名は64文字までです。

- Android

◆パスワード利用義務化

義務化する

※Android2.1以下の端末ではパターンロックが義務化されます。 Android2.2以上の端末では下記より利用パターンについての指定が可能です。

◆パスワードの種類 (Android2.2以降のみ有効)

利用者が自由に選択 (パターンロックを含む)

数字PIN、英字パスワード、英数字パスワードのいずれかを利用

桁数 桁以上 (4~16)

英字パスワードまたは英数字パスワードを利用

桁数 桁以上 (4~16)

英数字パスワードを利用

桁数 桁以上 (4~16)

※数字PINは数字のみで構成されたパスワードとなります。
英字パスワードは英字のみで構成されたパスワードを許可します。
英数字パスワードは英数字混在で構成されたパスワードが必須となります。
(数字のみのものは許可されません。)

◆アイドリングタイマー (Android2.2以降のみ有効)

画面表示が消えるまでの時間の上限を指定

◆パスワード更新義務化 (Android2.2以降のみ有効)

日間更新 (1~999)

ヶ月間更新 (1~99)

期間設定しない

- iOS

◆パスワード利用義務化

義務化する

◆パスワードの種類

単純値を許可

英数字の値が必要

複合文字の最小数

世代チェック (1~50)

桁数 桁数以上 (1~16)

◆アイドリングタイマー

画面表示が消えるまでの時間の上限を指定

デバイスのロックの猶予期間

◆パスワード更新義務化

日間更新 (1~730)

元に戻す 戻る 上書保存

【Android, iOS SPPM機能表】

『SPPM v2.0』では、Android, iOSの両方に対応し、両種類の端末向けのポリシー設定を1つの設定画面で実現しています。

※Android, iOSそれぞれのOSとしての機能と制約により、全く同様の管理が必要のないため下記に各OSで可能な機能(O)、不可能または意味の無い機能(-)、および今後の機能追加予定をまとめております。

機能項目	Android端末	iOS端末★
端末管理	○	○
Log収集	○	○
異常検知・通報	○	○
緊急時 端末ロック	○	○(パスワード画面)
緊急時データ削除	○	—
緊急時端末初期化	○	○
Agentアプリ管理 (リモートバージョンアップ)	○	—
紛失時位置追跡	○	—
デバイス機能制限	○	○(Wi-Fi制御不可)
パスワード管理	○	○
発着信履歴取得	○	—
発着信番号制限	○	—
アプリ一覧取得・監視	○	対応予定
利用アプリ制限	○	○(インストール制限)
アプリ管理	○	対応予定(iOS 5以降)
ファイル配信	○	—
APN設定固定化	○	未定
Wi-Fi接続先制限	○	—
Wi-Fiリモート設定	対応予定	対応予定
接続先URL制限 ★	○	—
メールアドレス等設定	—	対応予定



基本機能パック : 150円/月・台(万ーの場合の情報漏洩対策) ★ …新機能
 フル機能パック : 300円/月・台(徹底管理)
 初期費用: Android端末用専用インストーラー 4.5万円(オプション:台数によらず)
 iOS端末用プッシュ証明書作成 4.5万円(必須:台数によらず)

【今後の展開】

iOS端末管理につきましては、今後 iOSが持つMDM機能をフルに活用したアプリ管理機能やリモート設定機能を順次追加する予定です。

またAndroid端末管理につきましては、既存機能のブラッシュアップや新機種対応と共に、グループ管理機能(権限分散管理)、ウイルス対策システム連携、法人向けアプリ紹介サイト連携、Androidマーケット連携といった機能を順次追加する予定です。

【ご参考資料-1】

【 SPPM の概要 】

SPPMはITシステム管理者や情報管理担当者向けのモバイル端末(スマートフォン、タブレット)統合管理システムで、最新の Android 4.0, iOS 5 までの幅広い機種に対応しています。

管理者がSPPM管理サーバにて設定したセキュリティ・ポリシーや緊急指示をAndroid端末の場合には常駐稼働するSPPM Agentアプリが、iOS端末の場合にはiOS自体のMDM機能が実施します。

端末と管理サーバの通信履歴や端末内部の状況はLogとして管理サーバに蓄積され、管理状況を把握できます。

<参考URL> <http://www.axseed.co.jp/sppm-a/>

Android端末では、
スマートフォンに常駐し稼働する
SPPM Agentアプリが端末を制御



セキュリティ・
ポリシー設定

Android端末、iOS端末
一括管理画面



SPPM
統合管理サーバソフト

端末状態・利用
状況記録

日時	端末ID	機種	OSバージョン	接続状況	ポリシー適用状況	更新状況
2011/01/01 00:00:00	00000001	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000002	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000003	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000004	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000005	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000006	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000007	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000008	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000009	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み
2011/01/01 00:00:00	00000010	HTC Desire	Android 2.2	接続済み	適用済み	更新済み

iOS端末では、構成プロファイルによって、iOS自体が端末を制御

Log管理画面

【ご参考資料-2】

製品・サービス

■スマートフォン総合管理システム『SPPM』

『Smart Phone Policy Manager (SPPM)』は、2004年からサービスを開始したスマートフォン向けのセキュリティ統合管理システムです。警察、消防、金融、建設・設備、メーカー、大手通信事業者等での採用実績があり、サイボウズ社のスマートフォン対応製品KUNAI (Windows Mobile版)にも採用されています。

■写真付き報告書自動作成ASPサービス『SakuBiz』

『SakuBiz』は、現場から写真付の報告書を簡単に作成・送信できる業務報告用クラウド・サービスです。報告書作成フォームは、プルダウンメニュー、チェックボックス等で自在にメニュー化できると共に、報告書データはWeb共有できるだけでなく契約会社のEXCEL帳票(写真付)に変換して指定のメールアドレスに自動送信できます。2010年3月よりサービスを開始し、マンション管理、店舗巡回業務等にご利用いただいております。

■Android端末向け安否確認サービス『IP-Push 安否』

『IP-Push 安否』は、Android用MDM開発でのノウハウを活かし、災害時の電話発信規制やメール遅延の影響を受けない堅牢なIPプッシュ・ベースの安否確認サービスです。Android OS v2.2以降には、C2DMと呼ばれるIPプッシュ機能が装備されており、管理サーバからAndroid端末にリアルタイムに制御コマンドを送りつけることができ、様々なメリットがあります。

開発・運用実績例

■会員向けネットサービス・システム(設計・開発・運用・保守)

コンテンツ・プロバイダー様の携帯公式サイトを開発し保守・運用まで行っております。会員向けサイトのみならずメルマガ配信、会員管理、課金管理などトータルに対応します。

■大手Blogシステム向け携帯動画変換システム(設計・開発・運用・保守)

大規模なBlogシステムに連携する携帯動画対応機能を実現しました。Blogユーザが携帯カメラやデジカメ、DV等で撮影して投稿する動画データを、各種携帯電話やiPod等で閲覧可能なサイズ・形式に自動変換します。

■PC／携帯向け特殊メールシステム(設計・開発・運用・保守)

PC／携帯電話両方から利用でき、静止画/動画/絵文字メッセージをキャリアの制約を超えて交換できる特殊なメールシステムを受託開発し、運用しています。

【会社概要】

当社では安全性・互換性・操作性を追求し、「安全で」「優しく」「役に立つ」IT社会の実現に貢献しています。システム開発から、ネットワーク機器、サーバ構成、アプリ設計をなど安全性・安定性と費用対効果を考えた、システム開発・管理運用までワンストップでご提供します。

[会社名] 株式会社AXSEED(アクシード)

[代表者] 代表取締役 新明 善彦

[所在地] 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナル本館 8F

TEL/03-5766-4150 FAX/03-5766-4151

<http://www.axseed.co.jp/>

本リリースに関するお問合せ先
株式会社AXSEED 担当:橋本